

# 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 難研50周年記念 市民公開講座 — 最先端生命科学講座シリーズ 第34回 —

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。

※本公開講座は医療講演ではありません。

日時

2023年 6月23日(金) 午後7時～9時

開催方法

オンライン (Zoom)

共催

東京医科歯科大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー

講演 1

## 幹細胞の生存戦略

たが てつや

講師

田賀 哲也 (難治疾患研究所 教授)



幹細胞は、様々な細胞へと分化する多分化能を発揮しながらも自身が維持されるための自己複製能を併せ持ちます。西洋建築で壁をくぼませて大切な像などを置くために作った空間をニッチと呼びますが、幹細胞の研究分野でも自己複製に重要な微小環境をニッチと表現します。本講演では最近明らかになってきた、幹細胞が自身にとって居心地のよいニッチを自ら構築するという生存戦略の仕組みも交えて、幹細胞について考察します。



建物外壁のニッチ (イタリアの海辺の街角)



幹細胞ニッチ

講演 2

## 細胞内シグナルから疾患発症メカニズムを解く

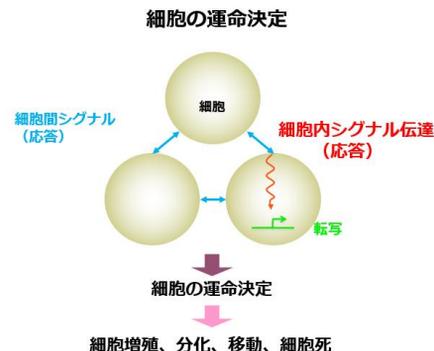
しぶや ひろし

講師

澁谷 浩司 (難治疾患研究所 教授)



細胞の運命決定は細胞外に存在する様々なシグナルを個々の細胞が細胞内シグナル伝達を介して行われています。このシグナル伝達経路の理解がさまざまな疾患の発症機構を明らかにすることにもつながると考えられています。本講演では、この細胞内シグナル伝達の研究がなぜ疾患発症の理解に結びつくのか、解説します。



●6/19(月)23:59〜切 : 定員50名・参加費無料・15歳以上対象 (中学生を除く)

公益財団法人文京アカデミーHP (<https://www.b-academy.jp/manabi/lecture/science.html>) からお申し込みください。

©〒112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係 TEL : 03-5803-1119 (平日9:00~17:00)